

さいしん福祉財団より「こども食堂・未来応援基金」へ寄附金を贈呈します

埼玉縣信用金庫（本店：熊谷市 理事長：池田 啓一）が設立した公益財団法人さいしん福祉財団（理事長：橋本 義昭、以下「さいしん福祉財団」）は、2023年9月6日（水）、こどもの居場所づくりやヤングケアラー支援を行う「こども食堂・未来応援基金」へ寄附金を贈呈いたします。

厚生労働省や埼玉県の調査によると、日常的に家族等のお世話やケアを行っているヤングケアラーである児童生徒が、およそ20人から25人に1人の割合でいることが分かっています。

さいしん福祉財団は従前より実施している在宅介護者への援助・慰労事業に加え、「ケアラーを支援するための協働に関する連携協定※」に基づくヤングケアラー支援の一環として、2022年より「こども食堂・未来応援基金」へ寄附金を贈呈しております。

今後も継続した支援に取り組み、ケアラー・ヤングケアラーの方が孤立しない社会の実現を目指して活動してまいります。



昨年の贈呈式の様子(2022.9.2)

贈呈式の概要

日 時	2023年9月6日（水）13：30～
場 所	さいたま市浦和区針ヶ谷 4-2-65 彩の国すこやかプラザ 4階会議室
寄附金額	1,000,000円
出席者	埼玉県社会福祉協議会 副会長 上木 雄二 様
（予定）	さいしん福祉財団 理事長 橋本 義昭

※ケアラーを支援するための協働に関する連携協定

当金庫ならびにさいしん福祉財団、埼玉県、埼玉県社会福祉協議会が、ケアラー・ヤングケアラー支援のため2022年7月に締結した連携協定です。

連携および協力の概要は以下の通りです。

- （1）ケアラー・ヤングケアラーに対する関心と理解を深める啓発活動の実施
- （2）ヤングケアラーの支援のため、さいしん SDGs 私募債などを通じた「こども食堂・未来応援基金」への寄附 等

公益財団法人さいしん福祉財団とは

概要

沿革	1997年3月設立、2012年公益財団法人化、創立27年目
目的	埼玉県内において社会福祉の向上に関する事業を行い、社会福祉の充実に寄与することを目的とする
ホームページ	こちらから ⇒ https://saishin-fukushi.or.jp/



主たる事業

介護者リフレッシュ旅行

さいしん福祉財団では1997年の設立時より、在宅介護者の方々を日帰り旅行または1泊旅行に無料でご招待し、日頃の介護からリフレッシュしていただく「介護者リフレッシュ旅行」を実施しております。ケアラーの方同士の意見交換や交流の場として、2020年1月まで139回に亘り実施してまいりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大によりやむなく中止しておりましたが、2023年5月より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更等を踏まえ、定員を半数以下に抑える等の感染防止策を徹底した上で、3年ぶりに再開いたしました。今年度は11月、1月、2月とあわせ計4回実施を予定しております。
実施実績・・・通算140回 参加人員のべ5,424名



再開した「介護者リフレッシュ旅行」に参加された皆さん（2023.5.17/浅草寺）

本件のお問合せ

公益財団法人さいしん福祉財団 事務局：関、市ノ川

電話：048-527-6065 URL：<https://saishin-fukushi.or.jp/>

埼玉縣信用金庫 総合企画部：吉田

電話：048-526-1111 URL：<https://www.saishin.co.jp>